

令和7年度第2回沖縄県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会議事要旨

日 時：令和7年9月11日（木）14：00～17：00

方 法：WEB

出席者：【ZOOM参加】15名

玉城佐笑美（県立中部病院）、奥平藤也（県立中部病院）、仲宗根恵美（那覇市立病院）、伊禮智則（那覇市立病院）、糸数真理子（那覇市立病院）、仲村渠美奈子（北部地区医師会病院）、岩崎奈々子（県立八重山病院）、横田美佐（県立宮古病院）、間島奈央子（キャンサーフィットネス）、上原弘美（友愛医療センター）、田場純子（沖縄県保健医療介護部）、西村克敏（地域統括支援センター）、増田昌人（琉球大学病院）、友利晃子（琉球大学病院）、大久保礼子（琉球大学病院）

欠席者：南部医療センター・こども医療センター所属委員

陪席者：なし

【報告事項】

1. 令和7年度第1回情報提供・相談支援部会議事要旨（令和7年6月12日）

資料1に基づき、友利委員より、令和7年度第1回沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議事要旨について報告があり、承認された。

【協議事項】

1. 令和7年度第12回九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム in 鹿児島について

資料2に基づき、友利委員より、今年度の地域相談支援フォーラムの開催および報告スライドの作成について説明があった。鹿児島県からの依頼内容に沿って、各病院での相談員を支援する取り組みについて友利委員まで11月第1週目を〆切として提出するよう依頼があった。

2. 地域相談支援フォーラム in 沖縄の開催について

令和8年度の地域相談支援フォーラムが沖縄県開催に決まったことをうけ、資料3に基づき大久保委員より、相談支援部会主催での開催案が説明され承認された。主に、開催日時・実行委員の招集、テーマや講師について検討された。開催候補日は令和8年12月5日（土）か12日（土）午後とする。実行委員には、県内の拠点病院およびがん診療を行う医療機関の実務者を中心に参加依頼を行う。テーマについては、相談支援を考える内容やACPや緩和ケアなどが意見として挙げられ、参加した相談員が元気になれる内容といった方向性を希望する意見があった。テーマや講師については、引き続き次の部会または、実行委員会の発足にあわせて検討する。

3. おきなわがんサポートハンドブックの作成協力について

資料4に基づき、友利委員より、おきなわがんサポートブックの制作状況および相談支援センターのページの改定と写真を掲載することが提案された。部会委員より、院内の場所が分かりやすく誘導できる地図やコメントを掲載することが提案された。また、別の委員より写真の掲載については場所の案内なのかアピールなのか主旨を整理した上で統一すると見やすいという意見があった。

また、部会委員より今年度の高額療養費制度に関するページは情報不足であるとの意見が多くあがり、冊子を受け取った時に医療費の見通しが確認できず不便だという声があると報告され、前年度同様の内容を掲載するべきという意見があった。掲載方法として、沖縄県ホームページ内の高額療養制度のページをQRコード表示しスマホから閲覧できるようにすることも提案された。友利委員にてハンドブック編集委員会へ報告することとなった。

4. 第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の進捗について

議題提出者退席のため協議なしとなった。

5. がん相談従事者研修会の開催について

資料6に基づき、友利委員より、今年度第1回がん相談従事者研修会の開催概要について説明があった。資料について沖縄県の後援はとっていないと訂正された。

6. リレー・フォー・ライフについて

資料7に基づき、11/8・11/9開催のリレー・フォー・ライフへの相談支援部会の参加について、下記の通り協議された。

- ① 実行委員でもある間島委員より、プログラムの中で企画している「相談支援部トーク」へ部会委員（相談員）が登壇することについて依頼があった。11/8（土）19時30分頃から30分間程度を予定している。協議の結果、フリートークのような形式で、相談支援センターの活動内容の紹介を中心にお話する内容で、相談員とピアサポーターやがん経験者、相談支援センターを利用された方などとともに登壇することとなった。部会委員からは、岩崎委員（八重山病院）、玉城委員（中部病院）が選出され、琉大病院からの参加も検討する。引き続きピアサポーターや経験者を各病院からの推薦者とあわせて選任することとなった。各病院に適任者がいればご推薦いただくよう周知された。
- ② ブース出展について、大久保委員より説明があり、前年度同様の内容で出展することが承認された。ブース出展のスタッフは、岩崎委員・玉城委員・仲村渠委員（北部地区医師会）、友利委員・大久保委員が担当することとなった。

【報告事項】

2. 地域統括相談支援センター活動報告

資料 8 に基づき、西村委員より相談件数及び活動報告があった。がんピアサポーター養成講座の開催、拠点病院のゆんたく会へピアサポーターの派遣やオンラインゆんたく会を開催したことが報告された

3. がん患者ゆんたく会（令和 7 年 4～6 月）

資料 9-1～9-3 に基づき、令和 7 年 4 月～6 月に各拠点病院にて開催された、がん患者ゆんたく会について報告があった。

中部病院は玉城委員より報告があった。継続参加の方が多かった。話題の中で、これまで参加されていた方がお亡くなりになったことを受け、ゆんたく会での交流を振り返ることで、故人を偲ぶことができ、参加者自身もご自身の気持ちを落ちつかせることができたという感想があった。10 月からは会場が変更となることが周知された。

那覇市立病院は糸数委員より報告があった。5 月にがんサポートハンドブックの紹介をテーマに講義とフリートークが開催された。そのほか、がん治療中の運動などが話題にあがり、活発に交流されていた。

琉球大学病院は友利委員より報告があった。テーマに「社会保障制度」「お薬の話」「フリートーク」として開催された。各回ともに関心のある方が参加し、同席している医療スタッフも交えて意見交換されていた。

北部地区医師会病院は仲村渠委員より報告があった。前回は女性限定とした開催で 1 名であったため、今回は対象者の制限なく開催したところ参加者は 0 人となった。

4. がん相談件数（令和 7 年 4～6 月）

資料 10-1～10-6 に基づき、令和 7 年 4 月～6 月の各拠点病院のがん相談件数と内容について報告があった。

○北部地区医師会病院（仲村渠委員）

今期は比較的少ない件数であった。在宅患者さんの訪問看護等との連携に関する対応が多かった。食事に関する相談もあり院内緩和ケアチームの栄養士とも連携をとり対応した事例があった。

○県立中部病院（玉城委員）

件数推移には大きな変化はない。ホスピスや療養先に関する相談や、がんと診断され衝撃を受けすぐに治療に向き合えないといった状況で、セカンドオピニオンや精神的サポートをした事例があった。

○那覇市立病院（仲宗根委員）

4・5 月と比べ 6 月の相談件数の減少は集計手段の変更によるものである影響が考えられる。通院患者ではない方のご家族から飛び込みの相談で、がんに関する相談ではなく DV 被害の実態が分かり専門機関へつなぐことができた事例が報告された。

○県立宮古病院（横田委員）

50 代・60 代の相談が多く、就労への影響や経済面での相談があったり、同じ世代でも

看取りに関する相談も多いが、ホスピスや医療用麻薬を扱える病院や施設が少なく、本人の希望する療養支援に難渋する事例があった。

○県立八重山病院（岩崎委員）

さらに離島の患者さんについて、ターミナル期の支援として診療所の医師とうまく連携がとれた事例があった。また、がん治療を提案しているが希望されず症状出現時のみ受診希望される方や、精神疾患による引きこもりのため受診が難しい事例が報告された。

○琉球大学病院（大久保委員）

件数に大きな変化はないが、内訳では 15 分未満の短時間での利用や女性の相談者の利用が多かった。自院患者さんでは、ホスピスや在宅医療、経済面を含む療養生活に関する相談が多く、他院患者さんからでは、受診方法の問合せや補完代替療法等に関する情報支援が多い傾向であった。

その他、相談支援センターの人員体制について 4 月からの変更点などの意見交換があった。

5. がん相談件数集計（令和 7 年 1 月～3 月）

資料 11 に基づき、友利委員より、各拠点病院の集計比較について報告があり、各項目のうち病院間で違いがある項目などの説明があった。

6. がん相談支援センターの広報（令和 7 年 4～6 月）

資料 11 に基づき、友利委員よりがん相談支援センターの広報について、新聞無料広告欄の掲載状況の報告があった。毎週掲載するよう依頼しており、引き続き実施する。

7. その他

次回開催は、令和 7 年 12 月 11 日（木）14 時からウェブにて開催予定。